

## 評価結果概要表

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870103458
法人名	株式会社ケアジャパン
事業所名	グループホーム ハッピー
所在地	松山市中央1丁目17番35号
自己評価作成日	平成25年10月25日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成25年11月6日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「あなたらしい生活を応援します」を運営理念とし、地域に根差したホームづくりに努め、可能な限り自分らしく自立した暮らしを守っていきたく思います。皆様に日々の生活を楽しく、家庭的な雰囲気の中で利用者一人一人の個性、生活リズムを大切に生活して頂けるように応援しています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

毎月、ユニットごとに職員会議を行い、意見交換や気付きの共有を図っておられる。管理者は、随時、職員の相談に乗っておられ、「意見を言ってもらいやすいよう」に日頃から声をかけるよう心がけておられる。「できていないことを責めるのではなく、やってくれたことを認め合えるよう、職員間で互いにフォローし、余裕を持って楽しく働ける」ような職場環境作りに取り組みされており、たとえば、職員の日々のモチベーションや体調等を自己評価するための「出勤時勤務点検表」を作り、職員間でも確認して、協働できるような仕組みを作っておられる。法人は、「えひめ子育て応援企業」に参加されており、現在、育休制度を利用している職員もおられた。入居時から、ご家族には看取りについてお話し、「事業所は目と場所を提供する」とことや「ご家族の協力が必要である」ことを伝えておられ、ほとんどのご家族が事業所での看取りを希望されている。ご本人には、入院の際等に今後のこと等について意向をうかがうと「病院で死ぬのはいや」といわれる方もあった。この二年間で、5名の利用者の看取り支援に取り組みされた。中には、退院して1日だけ事業所で過ごされて亡くなられた方もあり、ご家族は「一日だけでもホームで過ごせてよかった」と感謝されたようだ。

### ・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目: 9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目: 2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目: 11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目: 30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目: 28)		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム ハッピー

(ユニット名) ハッピー

記入者(管理者)

氏名 柿田 理世

評価完了日

平成25年 10月 28日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 当社の運営理念として「優良な介護サービスを継続提供することによって地域社会に貢献する」を掲げ、当ホームの理念として「あなたらしい生活を応援します。地域の根ざしたホーム作り」を掲げています。ホーム内に理念を掲示し、いつでも確認しながらスタッフ全員で共有できるようにしています。 (外部評価) 「あなたらしい生活を応援します。地域に根ざしたホーム作り」という事業所理念を居間に掲示されており、1月に就任された管理者は、「新たな思いで原点に立ち返り」ながら、取り組みをすすめていきたいと話しておられた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域での行事や校区の催事等可能な時は参加しています。(はなまつり、町内会のお花見、しみず祭り、中学校のフェスティバル、秋祭り等) 日常の買い物や散歩等外出時に挨拶をしてご近所つきあいが出来るよう努めています。 (外部評価) 町内のお花見会や校区内の春、夏、秋のお祭り等には、利用者と共に参加し、地域の方達との交流の場となっている。夏祭り際には、ほとんどの利用者が出かけられ、バザーで食事する等して楽しまれた。散歩時等には、近所の方に挨拶することを心がけておられる。又、散歩がてら保育園の運動会の練習風景を見学されることもある。毎日買い物に行くスーパーの店員とは顔なじみとなり、いろいろと配慮してくださっている。高校生の職場見学やハローワークの職業実習生等も受け入れておられる。	管理者は、「法人を通じての地域とのつきあいに頼るのではなく、事業所独自で地域との相互交流も深めていきたい」と考えておられた。今後さらに、地域の活動等に積極的に参加したり、運営推進会議にも地域のいろいろな方をお誘いする等、地域とのさらなるネットワーク作りに取り組みしてほしい。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 町内会長さん等に話をさせて頂いて、認知症や介護保険について話し合いや相談が出来る取組みを相談しています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 原則2カ月に1回運営推進会議を開催しています。多くの方々に参加を頂いて、その都度に状況の報告や様々な情報が聞けるような機会を提供しています。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議を家族会やお花見、敬老会と合わせて開催し、利用者も昼食をともにされている。職員の入れ替わり等もあり、4月の会議時には、職員の紹介等もされた。ご家族には、毎回、会議の案内と議事録を郵送されている。ご家族からは、「魚料理を増やしてほしい」「今後も、お出かけの機会は作ってほしい」等の意見等も出て対応に努めておられる。職員の入れ替わりや利用者の看取り支援等もあって、今年度は会議が遅れ気味になっているが、今後は、計画を立てて、いろいろな方の協力を得ながら取り組みをすすめていかれてほしい。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 日頃の連絡は密には取れていませんが、市の研修や協議会等にはなるべく参加するようにしています。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議に出席されている。市及び地域包括支援センター、市社協の各担当者からは、感染症予防や研修開催予定等について教えていただいている。法人は、「松山市認知症高齢者見守り・SOSネットワーク」に登録されており、管理者は、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりに協力していきたいと考えておられる。毎月、介護相談員の来訪があり、利用者とレクリエーションをともにしたり、お話をしてくださっている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 社内研修でもテーマとして取上げ、又社会研修の参加も促しています。</p> <p>(外部評価) ユニットの入り口は、開閉時に音楽が流れるようになっている。利用者が「里に帰る」等と落ち着いた状態の時には、職員が玄関まで付き添ったり、散歩にお連れしたり、時にはご家族に来ていただく等して対応されている。又、センサーマットを付けている居室もみられた。ご家族から、「両ユニットの交流を望む」意見があり、ユニット間で情報共有して、利用者が自由に行き来できるような支援に取り組まれている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  社内研修での取組み、外部研修の活用にて勉強出来るよう努めています。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  社外研修を活用しています。現在は利用されている方はおられません。過去には2人利用されている方がおられました。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  当ホームでは解約時に手続きはありませんが、改定があった時には必ず書面にて通知を行い、要望があれば時間をとって説明しています。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  普段から相談しやすい雰囲気作りに気を付けています。家族会(1/6ヶ月)、運営推進会(1/2ヶ月)で要望や意見を聞けるよう機会を作っています。	
			(外部評価)  前回の外部評価実施後、事業所の通信「ひなたぼっこ通信」を再開され、季節ごとに利用者の暮らしぶり等の写真を満載してご家族に配布されている。ご家族からは「家では見られない表情が見える」「面白かった」等の声が届いているようだ。通信には、職員の写真やプロフィール等も紹介されている。又、毎月、担当職員が、利用者の生活の様子等を手紙にして、写真とともに送付されている。春と夏に開催される家族会には、半数以上の方が出席されており、ご家族同士の交流の場にもなっている。法人では、今後、家族アンケートの実施を検討されていた。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			各部署ミーティング、事業部会議等での機会があります。	
			(外部評価)	
			毎月、ユニットごとに職員会議を行い、意見交換や気付きの共有を図っておられる。管理者は、随時、職員の相談に乗っておられ、「意見を言ってもらいやすいよう」に日頃から声をかけるよう心がけておられる。「できていないことを責めるのではなく、やってくれたことを認め合えるよう、職員間で互いにフォローし、余裕を持って楽しく働ける」ような職場環境作りに取り組まれており、たとえば、職員の日々のモチベーションや体調等を自己評価するための「出勤時勤務点検表」を作り、職員間でも確認して、協働できるような仕組みを作っておられる。法人は、「えひめ子育て応援企業」に参加されており、現在、育休制度を利用している職員もおられた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			職員に長く勤めて頂くためにリフレッシュ休暇制度を設けて、心身ともにリフレッシュする機会を作っています。えひめ子育て応援企業に参加。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			外部研修の案内を提供し、費用は会社が全額負担する事で意欲的な参加を促しています。会社負担で行った場合は研修報告書を提出し、参加出来なかったスタッフへの理解につなげています。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			グループホーム連絡会等の参加をしています。他GHとの意見交換・交流をしています。	
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			相談があった時にはなるべくご本人、ご家族にホームに見学に来て頂き説明をしています。その時に入居に対してどう思っているか要望や困っていること等、聞けるときには時間をとっています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人と見学に来られた時や、ご本人とは別にご家族と話し合う機会を持つようになっています。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>その時に一番困っている事についてお聞きしています。ご家族とGHでの環境の違いを考慮して対応を考えます。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人の状態に合わせて出来る事を一緒に行って頂けるよう支援しています。</p>	
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族会や運営推進会を開催し、参加して頂けるよう努めています。外出企画や行事の案内をして参加して頂けるよう努めています。毎月1回ご本人の写真と一緒に手紙にして状態をお知らせします。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>友人や親戚の方へホームへ転居した事を伝えて頂き来所して頂ける事もあります。デイサービスを利用されていた方には、デイサービスでの友人に会える機会を作ったりしています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者が仲良くされていた自宅の近所の方や、お世話になっていたヘルパーの方、併設デイサービスの友人等が訪ねて来られる。ご家族とお墓参りや法事、外出に出かける方もおられ、調査訪問時にも娘さんと外出されている利用者がおられた。ご自宅に外泊される場合には、ご家族にご本人の最近の様子や薬の情報等をお伝えして、安心して家で過ごせるよう配慮されている。調査訪問時、ご家族が来られ、職員は、利用者のご家族が並んだ写真を撮って差し上げていた。以前入居されていた方のご家族が来られ、フェイスマッサーやパックをしてくださることもある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者の状態の把握に努め、仲の良さや支援の必要な利用者との関係等に留意し、交流が持てるように支援します。必要な時は仲介します。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 普段から報告・連絡・相談を密に行うようにしています。退去に至る段階より相談をお受けして、ご本人・ご家族にとって良い方法を探す支援をしています。	
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の生活支援の中で出来る限り選択出来る生活を送れるように努めています。ケアプラン作成時には日々の生活の様子やご本人との会話の参考に、ご本人主体の意識で作成しています。 (外部評価) 入居時には、生活歴や趣味、人柄等、ご本人の全体像をフェイスシートに記入されている。職員は、利用者の懐かしい昔の話や希望等をお聞きして、「ご本人が今、何を必要とし、求めているか」を把握できるよう心がけておられる。調査訪問時の昼食後のひととき、ソファでは、職員とゆっくり会話を楽しんでおられる利用者の様子がみられた。	法人では、4月から記録の書式を改められ、これまでの「個別介護記録」を「24時間個別介護記録」と「個別介護記録別紙」の二通りに分けておられる。管理者は、日頃汲み取った利用者の言葉や思い、職員の気付き等を記入するには、書式や記載方法に工夫が必要と感じておられる。今後はさらに、利用者一人ひとりの暮らし方の希望や意向等の把握につながる情報の蓄積にも努められ、「あなたらしい生活」を支援できるよう、介護計画につなげていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時にご本人・ご家族からお聞きしています。入居時以降も情報の収集に努めています。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 毎月アセスメント表を作成し、ケアカンファレンス等を参考に変化を把握出来るよう努めています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>アセスメント表、ケアカンファレンスを参考にしてご本人・ご家族の意見をお聞きし、主治医の指導も含めてケアプランの作成を行っています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者、ご家族の希望や意向をうかがい、介護計画を作成されている。カンファレンス時には、利用者一人ひとりについて、すべての職員が意見を出すような仕組みとなっている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日々の様子は「24時間個別介護記録」と「個別介護記録別紙」を使用して記録します。月1～2回ミーティングとケアカンファレンスを行い、情報共有に努めています。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族や医療関係機関と密に連絡を取り、状況に合わせて必要な支援を行っています。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>買物や散歩など外出時の挨拶から始めて、ご利用者と近隣のお店の方などの関係作りをしています。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入居相談時に決まったかかりつけ医がなければ、ホームから情報を提供しかかりつけ医の利用を支援しています。	
			(外部評価) 協力医療機関は、24時間対応してくれるようになっている。協力医がかかりつけ医の場合は、月に2回の往診がある。入居以前からのかかりつけ医を受診される場合には、ご家族が付き添われている。訪問歯科を利用される方もある。ご本人の症状を職員がご家族に報告して、他科受診をすすめるようなこともある。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) GH内には看護職員は配置していませんが、同じ施設内のデイサービスの看護師と連携して対応しています。又、訪問診療の医師が来所した際、気付いた事や日常の様子等の情報を報告しています。	
			(外部評価)	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価) かかりつけ医と連携して情報交換を行い、退院時には面会に行きご本人の状態の確認をして、ご家族やかかりつけ医と相談し、日取りや情報提供等を決めています。	
			(外部評価)	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) ご家族 かかりつけ医と連絡を取りあいながら、看取りの要望があれば当GHの「看取りの指針」を説明し、出来る限りの対応を行っています。	
			(外部評価) 入居時から、ご家族には看取りについてお話し、「事業所は目と場所を提供することや「ご家族の協力が必要である」ことを伝えておられ、ほとんどのご家族が事業所での看取りを希望されている。ご本人には、入院の際等に今後のこと等について意向をうかがうと「病院で死ぬのはいや」といわれる方もあるようだ。この二年間で、5名の利用者の看取り支援に取り組まれた。中には、退院して1日だけ事業所で過ごされて亡くなられた方もあり、ご家族は「一日だけでもホームで過ごせてよかった」と感謝されたようだ。終末期を迎えようとしているご家族の中には、迷惑をかけるからという思いから希望を言い出せずにいる方もあり、事業所から「看取らせてください」と申し出られたこともあるようだ。職員は、利用者には最期までいつもと同じ生活を続けられるよう支援し、ご家族とは連絡を密にとり、いつでも来ていただけるよう配慮された。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 事故発生時の緊急マニュアルを設置している。出来るだけ救急法の講座を受講し、技術の習得に努めています。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年2回の消防訓練に参加し体験や説明を受けています。又マニュアルや防災マップを整備しいつでも見られるようにしています。	
			(外部評価) 併設のデイサービスと合同で、消防署の指導のもと年2回、夜間想定や出火場所を変更して避難訓練を実施されている。自力で歩ける利用者には、非常階段を使って下りることができるよう誘導された。利用者の避難終了を確認できるよう、居室の名札をはずして居室の中に投げ入れるよう、職員間で徹底されている。町内会には、災害時の見守り等の協力を依頼されているが、事業所はビルの2階に位置していることもあり、今後も運営推進会議等の機会を活かして、さらに地域とのつながりを作り、いろいろな災害に備えた避難訓練を重ねていかれてほしい。備蓄については、これからの取り組みとされていた。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) ご本人に合わせた声かけやプライドを尊重した配慮を行っています。	
			(外部評価) 職員の言葉かけで気になることがあれば、管理者は、その都度「別の言葉に置き換えることはできないか」等と示唆されている。調査訪問時、モップで廊下を拭いておられる利用者に、職員は「助かりました。ありがとうございます」と笑顔で声をかけておられた。利用者からの希望で、選挙の期日前投票に出かけられるよう支援されている。利用者から「見張られている。監視されている気がする」という意見があり、ご本人の精神的負担を軽減するために、ご家族の了承も得て、居室のドアを開けなくとも様子が見えよう、ドアの小窓のガラスをすりガラスから透明なガラスに代え、外からカーテンをかけ、さりげなく見守ることができるように工夫されたユニットもある。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日常生活の中でなるべく選択の機会を作り、ご本人による決定が行えるよう努めています。何事もご本人に声掛けを行えるよう心掛けています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 出来る限りご利用者の希望に添えるよう日常の支援を行って います。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう に支援している	(自己評価) アクセサリやマニキュア、化粧品等ご本人に合わせ購入し 楽しんでいます。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) その日のメニューをご利用者と一緒に決めて、一緒に調理を したり味見をして頂いたりして楽しんで頂けるようにしていま す。	
			(外部評価) 月・水・金の昼食のおかずのみ、業者から届くようになっているが、 毎日のように、利用者とともに買出しに行かれ、一品は利用者の希 望が叶うような献立を心がけておられる。調査訪問時の昼食の散ら し寿司作りは、寿司飯と具を合わせる方や傍でうちわで扇ぐ方、横 で見ている方と利用者それぞれに役割があり、会話しながら作っ ておられた。テーブルにランチョンマットを敷いて、準備されている利 用者もおられた。職員も食卓を囲み、同じ物を食べておられた。車 椅子を使用している利用者の中には、お盆に食器を乗せて膝の上 に置き下膳する方もあった。又、テーブルを拭いておられる方も あった。お誕生日には、ケーキか和菓子を選んでいただき、コー ヒーカップ等いつものものよりおしゃれなカップを用意し、夕食に はお好きなメニューにしてお祝いされている。調査訪問時、おやつ のおはぎを利用者と一緒に作っておられた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量と水分量はチェック表にして状態の把握が出来るよう にしています。かかりつけ医に相談して、ご本人に合わせた 量の調整を行っています。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 口腔ケアの声かけを行い、口腔ケアを行って頂けるよう支援 しています。介助が必要な方は毎食後に行っています。義 歯を使用している利用者は最低週一回ポリドント洗浄をして います。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	<p>排泄チェック表にて排泄パターンの把握に努め誘導や声掛けをしています。日中オムツの使用をなるべく減らし、リハビリパンツ(紙パンツ)や失禁パンツで生活出来るよう支援しています。</p> <p>トイレで座って排尿することによって、腹圧がかかり、又、排便も促されるよう支援されている。トイレで座位をとる際に、背中や腰が当たって痛い場合に備えて、小さめの座布団を用意される等、配慮して支援されている。</p>	
			(外部評価)		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	水分調整と腹部を温めりマッサージをして排便を促しています。把握できる利用者に関しては排便無しの日数を念頭においてバイタル等に注意しています。	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	朝のバイタル測定時に希望をお聞きしています。	
			(外部評価)		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	居室内での休養はいつでも行えるようにしています。エアコンで室内の温度調整をしています。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の変更時や処方時には処方箋を頂き、薬剤師の方に説明を受けています。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 居室内で自身の携帯を利用したりゴルフの練習をしたり、散歩を日課にしたりして出来る限り支援しています。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 外に出たいと訴えがある時には、買物同行や散歩で外出機会を提供しています。全体では月1～2回ホームでの外出企画を行っています。	
			(外部評価) 散歩や買い物は順番で出かけられるよう支援されている。お誕生日に、好きな職員と一緒にプレゼントを買いに出かける方もおられる。調査訪問時、車いすを使用する利用者を職員が押して、買い物に出かけて行かれる様子がみられた。月に2回は、計画を立てて全員で、ぶどう狩りやショッピングモール、デパート等に出かけられるよう支援されている。	職員は、「季節を感じられるよう、もっと気軽に散歩に出かけたり、外出できるようにしていきたい」「利用者が気が向いた時に外出したり、散歩の際に遠回りしたい方の希望にも沿いたい」と話しておられた。今後さらに、利用者一人ひとりの希望を探り、ご家族の意向もお聞きしながら、支援に工夫を重ねていかれてほしい。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 預金を持ち、買物に持って行きご自分のお金で買物をして頂く機会を持っています。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 手紙やはがきなど書かれたら郵送のお手伝いをし、友人やご家族に電話をしたいという希望があれば支援しています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 車イスを使用しているご利用者も動きやすいようゆっくりとした空間作りに努めています。温度・湿度にも気を配り調整しています。季節ごとにホーム内のディスプレイを変えています。	
			(外部評価) 事業所は、建物の2階部分に位置しており、ワンフロアに2つのユニットがある。ユニットによっては、居間と食堂が分かれており、食後には、居間のソファに座ってテレビを見たり、お気に入りの場所で過ごしておられる方もみられた。壁には、行事時の写真等が掲示されていたり、職員の名前と写真や、当日の職員の顔ぶれが分かるように掲示しているユニットもあった。歌がお好きな方のために歌本を用意したり、将棋盤等も置かれていた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファを設置してのんびりとくつろげる場を作っています。リビングでイスやソファで自由に過ごされています。	
			(外部評価)	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入居時にタンス等使っていたものを持って来て頂けるよう説明しています。又、間取りに関してもその都度相談しながら変える事もあります。	
			(外部評価) 男性の利用者の中には、ゴルフのパター練習ができるような道具を置かれている方や、テレビや趣味のカメラを持ち込まれている方もおられる。ご家族との思い出の写真やお孫さんの写真、ご自分で作った折り紙作品を飾ったり、観葉植物を並べて日々お世話している利用者もおられた。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 手すりの近くには物を置かず、廊下での歩行の安全に配慮しています。整理・整頓に気を配りご利用者目線で危険な物を置かないようにしています。	
			(外部評価)	